

なる雑草の除去につ
いては、除草剤をま
きたいところだが、
好奇心旺盛な幼児た
ちが触れることで健
康被害を及ぼしては
大変…と懸命に引き
抜いていった。

今年も親芋付きずいき奉納

山 城 棚倉孫神社に秋神輿

障害者就労支援
施設で農福連携セン
ターのさんさん山城

「京田辺市興戸」は6
日、5年連続となる
自家製「ずいき」を
秋祭一色に染まる棚倉
孫神社（南啓史宮司）
まで奉納した。

すっかり秋めいた旧
村の佇まいに彩りを
添えるのは、数々の自
然の恵みで施す瑞饋
（ずいき）神輿。
1978（昭和53）
年結成の瑞饋神輿保
存会「制作者の会」

と総代らが作業にあ
たる。

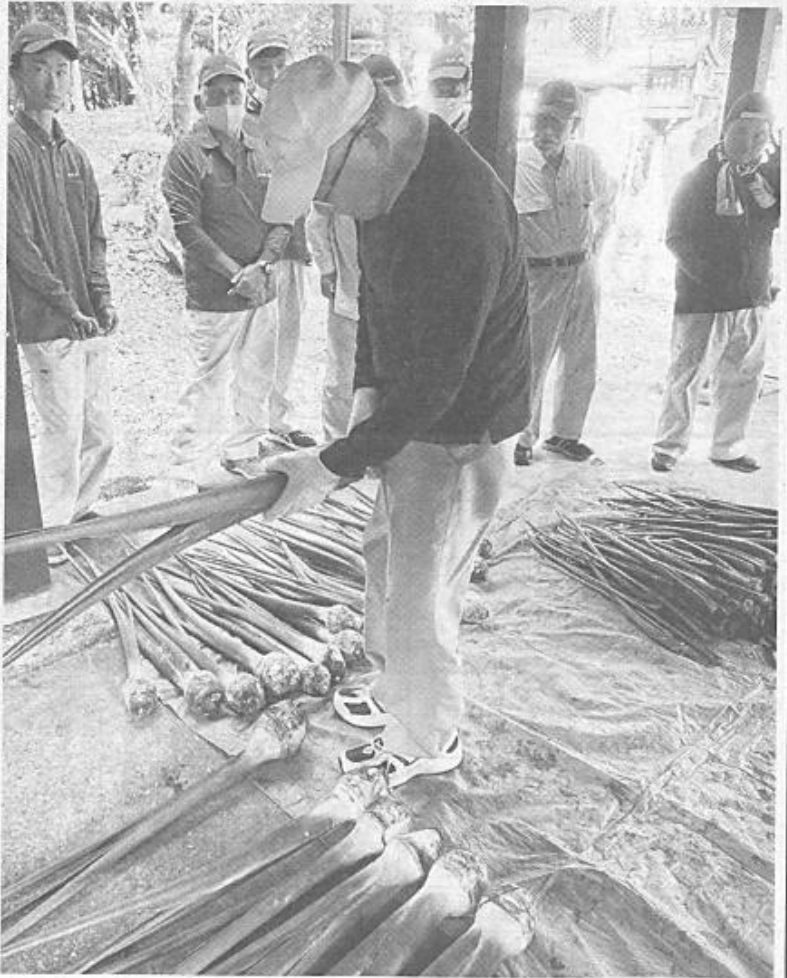
京田辺特産のえび
いもの茎であるずいき
を屋根に葺き掛け、
およそ30種類あると
いう野菜や穀物で飾
り付ける。

大豆・小豆などを
ひと粒ずつ貼り付け
た壁をはじめ、伏見
とうがらしや金柑、
赤なすを糸で通した
ぶら下げ型でキラキ
ラとした環路（ようら
く）、米・麦などの粒
でできた文様はまた
とない代物だ。
隔年制作の瑞饋神
輿は重さ約380キ
ロに及ぶ市文化財で、
同じく煌びやかに飾
り付ける子ども神輿
も約100キあるとい
う。

2019年から自家
製ずいきを寄せるさ
んさん山城は、瑞饋
神輿に欠かせない親
芋付きのずいきを今
年も25本持ち寄せた。
ほかに、伏見とう
がらしの緑・赤それぞ
れ100個も奉納。

保存会・
西川秀司さ
んとの縁が
きっかけで
毎年奉納
するようにな
った。

豊作を願
う地元の伝
統行事に関わりを続
け、地域貢献を願う。
農業班を中心に今
秋もメンバーが届け、
これからの作業の安
全も祈願した。



長い猛暑の影響で
「生育は良いといえ
ず、早く倒れる」もの
も数々あったという。
他の農家もなか
なか数量が揃わない

中、短めも含め奉納
した。
【写真】瑞饋神輿に
なくてはならない親
芋付きのずいきを奉
納】

地域新聞
洛タイ新報の
ご購読お申し込みは
各新聞販売店または
☎224109まで